

医療事故 直視と謝罪

医療法人 医真会
理事長 森 功

日本人社会の精神基盤

- 宗教性の代わりに“**丁重・謙虚・協調**”
- **最終結論より“寸止め”**
- **権威：学術・地位・能力への“畏敬＝控えめ”**
- **町内会的“親しみ一許しあい”**
- **すみません、ごめんなさい、恐れ入ります…**
の常套語化

争うより諦観

医療は結果不定の共同作業

- 期待されなかった結果に終わった＝
医療担当者は“すみません、いい結果が
出ずに”と素直に言える訓練を
→情報を常時開示し、共有する前提
- 原因は上司などと検討しています＝
結果は速やかに報告します：客観性
→IAU + α による検証

IAU・MSWの介在の前に医師自身が

医療過誤と判定

- 過誤が存在すれば“同時に”当事者の公式謝罪(管理職を含む)
- IAU報告の患者・家族への開示・説明:文章化して分かりやすく記述
- IAUおよび渉外担当部長による今後の賠償も含めたプロセスの説明
- 死亡事故では外部委員を含めた調査委員会の設置

TPOと誠意